

# 大田区自立支援協議会 就労支援部会議事録

文責：根本（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 就労支援部会（第3回）			
(2) 開催日時	平成29年7月24日（月）15:00～17:00			
(3) 開催場所	大田区役所本庁舎 902 会議室			
(4) 出席した委員、事務局	部会長：鶴田雅英			
	古怒田幸子	中野真弓	佐々木亜衣	平井有希子
	山田達也	大内伸一	小林清一	根本真理子
	森村明香	高橋由紀	酒井弘美	富田文子
	佐藤正浩			
	区職員			
	事務局 小林善紀 滝本裕弥 村田亮			
欠席者 関香穂利 遠藤文夫 都丸利奈子 相澤あゆみ 富永眞也				
(5) 内容・要旨	<p>●内容</p> <p><b>1 各委員・各ネットワークからの情報提供</b></p> <p>○大田高次脳機能障害支援者ネット「STによる基礎講座」 STという専門職の業務内容を説明。基礎的な内容であったが、地域の支援者の困りごとを共有する機会となった。</p> <p>○おおたTSネットについて 第3木曜日にサポートセンターにて定例会を行っている。自由参加。 9/16（土）に拡大イベントを実施予定。長崎県地域生活定着支援センターの伊豆丸剛史氏を講師に招き、講演会を行う予定。講演会については事前申し込みが必要。</p> <p>○便利屋「ステップ夢」について ショートタイムワークをヒントに、就労継続支援B型事業所、ステップ夢が当該活動を開始した。地域の高齢者を対象に、介護保険などの高齢福祉サービスではサポートされない困りごとについて、お手伝いを行う。（有償）ステップ夢の職員の見守りや保険に加入する等で、安心して利用してもらえるようにしている。</p> <p>○平成30年度「就労定着支援事業」について 厚生労働省社会保障審議会の資料を基に、現時点で分かっている内容の確認を行う。特別支援学校や医療機関からの直接就労や復職などの方は対象とならない可能性がある。また現行の就労移行支援事業の定着加算との関連など、詳細が分かるのは、年末あたりになると予想される。今後も情報が入りしだい、適宜共有していく。</p> <p>○おおもり語らいの駅について 牧田総合病院が主催で行っている事業。独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成事業として、おおた高齢者見守りネットワーク、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所との協働事業。高齢者に限らず、誰もが集える場を提供している。</p> <p>○おおた福祉フェス2017について 9/9（土）に大田区産業プラザPiOにて開催予定。主に介護関係の就職説明会に加えて、子ども向けの介護のお仕事体験などの企画も予定している。</p>			

## 2 事務局からの情報提供

### ①7月就労促進担当者会議の報告

区内企業からの新規雇用情報の情報提供があった。

学習会では、(公財)東京しごと財団より、障害者就業支援事業に関する説明を行っていただいた。

### ②7月就労移行支援事業所連絡会・就労移行支援事業所説明会個別相談会の報告

区内企業からの新規雇用情報の情報提供があった。

ネットワーク事業として、7/20(木)に区内関係機関の支援者を対象に就労移行支援事業所説明会・個別相談会を企画した。当日は参加者が22名と、区内の移行支援事業所等から発表者として25名参加。説明会終了後には個別ブースに分かれて個別相談会も実施した。

### ③第2回職場体験実習実行委員会報告

7/25(火)に支援者向け説明会を行い、実習受入先一覧をもとに、実習希望者の参加を募る。9月以降に体験実習先の調整を行い、10月より実習開始の流れとなる。

今回の会議から、開始時間を30分早め、議題の前に各事業所からの支援状況の報告など情報交換を実施した。

### ④就労アセスメント説明会の報告

6/26(月)に特別支援学校の3年生で、卒業後に就労継続支援B型事業所の利用を希望している方と保護者を対象に、就労アセスメントの説明会を実施した。アセスメントを実施する目的等を説明。夏休み期間以降に、区内の移行支援事業所にてアセスメントを受けることになる。

昨年からアセスメントを行える移行支援事業所が増えたことで、希望者の負担が減った面はあるが、通所に伴う本人・保護者の負担など課題は残っている。

## 3 実態調査の検証・次期プランへの意見出し

実態調査の検証と次期プランへの意見出しを行う前に、再度運営会議の在り方や役割について確認と、部会として検討した内容をどのように施策推進会議に反映してもらうかの確認を行った。

運営会議については、第一回の運営会議の資料にて、会長・副会長や各専門部会長が必要に応じて開催することを確認。また、同じく運営会議資料にて、おおた障がい施策推進プランの検証・評価は大田区障がい者施策推進会議で行うことになるが、大田区自立支援協議会は意見出しを行えること部会長から会長宛に、施策推進会議に向けて運営会議(会長との意見交換の場)を開催するよう提案していく。就労支援部会の事務局も意見出しについて、共同事務局に情報共有していくことになる。

上記を確認した上で、27・28年度に就労支援部会でおおた障がい施策推進プランについて検討してきた内容の再確認を行い、改めて次期プランに向けて部会の意見として提案する内容を検討した。

また、実態調査報告書を受けての検証については、以下の意見が出た。

前回の実態調査アンケートでは精神障害者だけが別の調査票であったが、今回の調査では、全障害共通の調査票だったことで、調査結果を障害全体として見られるようになったことは良かった。

しかし、精神障害者の一般就労については、サポートセンターの実績なども含めて、もう少し詳細な検証を行わないといけない。それにより、就労の希望

はあるが、まだハードルが高い方々に対しての支援の方策についても検討していけるのではないかとの意見もあった。

8月と9月の施策推進会議では、次期プランの骨子が示される。限られた時間で議論を行うため、8月の施策推進会議以降に部会事務局より委員宛にメールにて、骨子を情報提供する。委員は事前に骨子資料を確認し、意見を部会事務局宛に提出し、次回の部会にて検討を進めるといった進行管理を意識していくこととなった。

#### 4 次回日程

日時：平成29年8月21日（月） 15時～17時

場所：大田区役所9階 902会議室